

## 「私たちの生活を支える税金」

関原 治紀

私は税金についてあまり関心がなく、何のためにあるのか、何に使っているのかほとんど知りませんでした。でも、税金のことを調べていくと、税金の大切な役割を知ることができました。

私が税について調べたきっかけとなったことは昨年末に祖父が亡くなり、その時家族が相続税のことを話しているのを聞きました。そのことを母に聞いたら、相続税とは人が亡くなった時、その人の財産を受けとる人にかかる税金ということで私はそんなことにも税金がかかるのかと疑問を持ち、その時はあまり税にいい印象を持ちませんでした。

その後、そのことをもう少し調べたら相続税や税金のことが色々分かりました。まず、相続税がある理由としてお金や資産の偏りを防ぐためということです。例えば、相続税がないとお金や土地などの財産がずっと特定の家族だけに集中してしまい、不公平な社会になってしまうため、それを少しでも調整しようとする役割を持っていること、またその税金は私たちの生活にかかせないことにたくさん使われていることです。例えば、道路や橋などインフラの整備、医療の分野だと病院で診てもらうことや救急車がいつでも駆けつけれるための整備、そして警察や消防、災害時の避難所など私たちの安全を守ってくれるところにも税金は使われていることを知りました。

私はこのことを知って当たり前に楽に歩ける綺麗な道路、無料で利用できる図書館、なにかあったらいつでも呼べる救急車と自分の生活は税金があるから成り立っていることを知りました。最初は税について何も知らず不満や疑問がありましたが調べていくうちに、税金はただ取られるだけということではなく自分や誰かが安心して生活できるためのものだと学びました。

今、私が納税しているのは基本的に消費税ですが今回税について色々学んだので、これから税を払う際、ただ払っているのではなく、自分の暮らしや社会を支えるために払っているということを思い出したいと思います。また、納税することは大変でもあります。だから税金を大切に使って欲しいです。

将来、たくさんの税金を払うと思います。ただ、その分税金に支えられると思います。税金がどのように使われているかなど税についての関心を持ち続け、しっかり税金に感謝しながら暮らしたいと思います。